

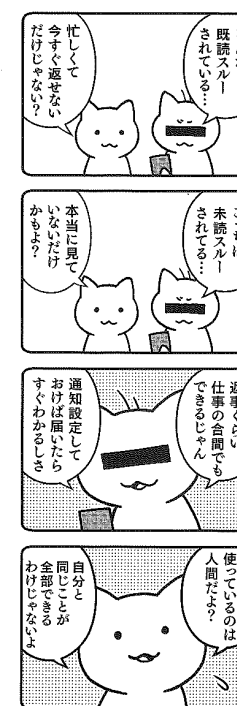
# 二見中だより 第21号

## LINE・SNSの トラブルが多発しています

上のことにつきましては普段から注意をし、毎年専門の方や県警のサイバー犯罪対策課の方にもおいでいただき、講習をお願いしています。道徳で学習した学年もあります。にもかかわらず、一向にトラブルはなくなるのが現状です。LINEトラブルに原則学校は立ち入らないことにしていますが、それでも内容によっては指導しなければならないこともあり、それに費やす時間が膨大なものになっています。実はこれは無関係な人も巻き込む学校全体の問題です。なぜなら先生方は授業準備や部活指導を中断して、遅くまで指導することになるからです。『準備不足で授業→わかりにくい授業→生徒が損をする』『大会・コンクール前→最後の詰めの指導をしておきたい→指導できない→全力が出せなかった→部員が損をする』悪循環ですね。わずかに関わっただけで呼び出される皆さんだって迷惑でしょう。このようにマイナス面はみんなが受けることになるのです。学校は人間関係について学ぶところでもあります。主は『学業をする』ところであることは言うまでもありません。LINEトラブルによって、学習がないがしろにされるのでは本末転倒です。

### LINE・SNSトラブルに陥りやすい人の特徴

- ①スマホを操作している時間が長い(学習時間より長い、使う時・使わない時の区別がない)。
- ②スマホによってのみ人とつながっている実感が強い。(返信がないと、又は返信しないと落ち着かない。自分が期待した返信が返らないと気に入らない。)
- ③他校生や不特定多数の人とつながっている。
- ④自分のことを発信したい気持ちが強い。(〇〇とどこに行った、△△を食べた、今日こんなことをした・・・など。たくさんの返信や“いいね”があることが快感。)
- ⑤保護者の方のチェックが入っていない。
- ⑥悪口を言うとドーパミンが出てすっきりする。日ごろから不平不満が多い。
- ⑦カッとなりやすい。



『多分そいつ、今ごろパフェとか食ってるよ。』(Jam・サンクチュアリ出版)より

携帯、スマホは大変便利な物であり、LINE、SNSも全てが“悪”ではありません。左下の「陥りやすい人・・・」も全てが当てはまるわけではありません。上手に使っている人も大勢います。しかしトラブルになっている人も大勢いて、それも「これは普段から注意していることなのに・・・」とか「こんな言い方したらトラブルになるわな」という初歩的なことがほとんどです。また自分で解決する力がないのに、トラブルの種をまいてしまっている人や、仲間が多いことに勢いを得て、一緒に悪口を言ってしまったという人もいます。(①大勢の意見の方が正しい=相手が悪い ②だから悪口を言われても当然だ になってしまう)

そもそも学習に励んでいる、部活や習い事を頑張っている、趣味に熱中しているなど、何か熱意をもって取り組めるものをもっている人は、トラブルを起こすことは大きな時間の無駄であることをよく知っていて、あまり巻き込まれることもないようです。

そろそろLINEトラブルは一掃しませんか？スマホはあくまで機械。人間が振り回されるのではなく、賢く使いこなすものであってほしいものです。